

住み慣れた地域で自分らしく
安心して暮らしていくために

在宅医療と介護の 連携推進に向けて

地域包括ケアシステムが、在宅療養生活を支えます

要介護状態や認知症になっても「ときどき病院、いつもは在宅」で過ごせるまちづくりを目指す“地域包括ケアシステム”を推進しています。人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、在宅医療と介護が連携し、生活支援などの仕組みと共に、皆さんの在宅療養生活を支えます。



地域包括ケアシステムとは…

住み慣れた家庭や地域で、自分らしく安心して暮らせるよう、一人ひとりの暮らし方にあった「住まい」を中心に、「医療」「介護」「予防」だけではなく、福祉サービスを含めた様々な「生活支援」サービスが適切に提供できる地域のしくみを「地域包括ケアシステム」といいます。

地域の特性を考えながら「地域づくり」に取り組むことが「地域包括ケアシステム」に必要です。

自分らしい人生を過ごすために

「人生会議」であなたの思いを伝えましょう

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取組を

「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」 と呼びます。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがをすることがあります。

命の危険が迫った状態になると、

約 70% の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。



そのため、自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。

知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

出典：厚生労働省作成「人生会議 (ACP) 普及・啓発リーフレット」

そこで ...



高岡市では、「人生いきいきノート」を作成・配布しています。

自分に関する情報や要望・希望を分かりやすくまとめ、しっかりと残しておくことで家族の助けになります。

そして、人生を振り返り、これからの人生のあり方を考えることで、人生の最期まで自分らしく暮らせるきっかけとなることを目的としています。

人生いきいきノート 配布場所

●高岡市役所 長寿福祉課

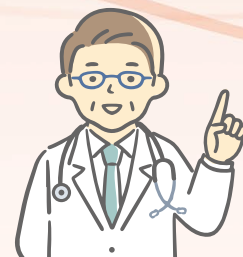
●地域包括支援センター

(別表「高岡市の認知症相談機関一覧」参照)

あなたが望む在宅療養生活を継続していくために かかりつけ医（主治医）を持ちましょう

在宅医療の中心となるのが、地域の「かかりつけ医（主治医）」です。
自宅へ訪問し、診療や健康管理を行います。また、必要に応じて、
他の医療機関や介護・福祉の専門職と連携します。

かかりつけ医は、普段から患者さんの体調、生活習慣、病歴などを把握しているので、お互いの信頼関係も築きやすく、健康管理や服薬管理なども含めた継続的な医療を提供できます。



かかりつけ医を持つメリット

病歴、健康状態などを
把握し、緊急時には
素早く対応

入院・検査などが
必要な場合に、
適切な病院の紹介

食事や運動など、
健康づくりの
アドバイス

安心して在宅療養生活を続けられるように、医療と介護のサポートを受けましょう！

在宅療養生活に向けた主な準備

かかりつけ医の確認

かかりつけ医がいる場合は、訪問診療や往診が可能か確認しましょう。

入院中の場合は、医療ソーシャルワーカーなどに相談しましょう。

在宅療養の準備

入院中の場合は、医療ソーシャルワーカーなどに早めに相談しましょう。

すでに在宅療養をされている場合は、かかりつけ医やケアマネジャー、地域包括支援センターなどに相談しましょう。

介護保険の準備

介護保険サービスを利用する必要がある人は、地域包括支援センターや高岡市長寿福祉課に「要介護認定」の申請をしましょう。

在宅療養環境の準備

これまでの生活が実現できることが理想です。

トイレや浴室などへの手すりの取り付け、介護ベッドやポータブルトイレの利用など工夫をしましょう。

在宅療養生活を送るために 在宅医療を支える人たち

在宅療養生活を送るためには、医師が行う治療に加え、さまざまな専門職のサポートが必要になります。
在宅療養生活を支える人たちが、どのようなことを行う職種なのか、知っておきましょう。

かかりつけ医・医療機関などの医師

普段の訪問診療や往診はかかりつけ医が、状態が悪化して入院治療が必要な場合は医療機関などの医師が、状態に応じて医療を担当します。かかりつけ医と医療機関などの医師が連携することにより、安心して医療を受けることができます。

ケアマネジャー

介護保険利用者が、その人らしい暮らしが出来るよう、本人や家族の相談にのり、一緒に介護保険サービスや保健・医療・福祉、社会資源等を組み合わせた「ケアプラン」を作成し、サービス事業所への連絡、手配をします。

医療・介護等関係者と連携し、在宅療養生活を応援します。

歯科医師

口腔内の診察、むし歯・歯周病の治療、入れ歯の製作・調整、口腔内の清掃、誤嚥防止の指導・訓練など、訪問により継続的な口腔機能の維持・管理を行います。



医療ソーシャルワーカー

おもに病院内において、福祉の視点から療養生活上の経済的、心理的、社会的問題に対し相談を受けたり、関係者との調整を図ります。

安心して在宅療養生活を続けられるように、
医療と介護のサポートを受けましょう！

薬剤師

医師の指示に基づく処方せんの調剤、薬の飲み合わせなど薬歴管理、薬の効果などの説明、服薬指導、服薬状況と保管状況の確認などを行います。

歯科衛生士

歯科医師の指示に基づいた歯科衛生指導などを訪問して行います。

訪問看護師

医師の指示に基づいた専門的な看護やリハビリなどを行います。

ホームヘルパー

家事や炊事など身の回りの生活全般のサポートや身体介護など、日常生活の支援を行います。

リハビリ専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

日常生活動作や心身機能の改善・維持を目的に、医師の指示に基づいた各種訓練や生活指導などのリハビリテーションを訪問して行います。

管理栄養士・栄養士

医師の指示に基づいた栄養・食事指導を訪問して行います。

安心して住み慣れた地域で暮らしていくために みんなで支える在宅医療と介護の輪

かかりつけ医をはじめ、さまざまな職種が協力・連携し、チームとして在宅療養生活を支えています。

医療・介護等の専門職が迅速につながり、切れ目のない支援を提供できるよう、「高岡多職種ネット」を活用しています。



～高岡多職種ネット～

高岡市内の医療機関や介護保険サービス事業所などの間で、在宅療養をされている方の情報を共有するために、ネットワークシステムを導入しています。システムを利用することで、在宅療養をされている方の病気の状態や介護の状況が、専門職間で共有できるようになり、在宅療養をされている方の状態に合わせた医療と介護の提供が可能となります。

安心して住み慣れた地域で暮らしていくために みなさんの生活を支える相談窓口

在宅医療や介護が必要になっても、安心して在宅での暮らしを続けていけるよう、ご自身やご家族だけで悩まずに、かかりつけ医や下記機関に相談しましょう。

相 談 窓 口

●高岡市役所 長寿福祉課（☎ 20-1165）

●地域包括支援センター（別表「高岡市の認知症相談機関一覧」参照）

本人や家族、地域の方々からのさまざまな相談を受けて、適切な情報提供や各種サービスの紹介等を行い、安心して生活できるように支援しています。また、地域の「かかりつけ医」や高岡市医師会の「認知症・地域ケア相談医」、ケアマネジャーなど、関係機関と連携し、必要なサービスを提供できるように支援しています。

認知症・地域ケア相談医

別表「高岡市の認知症
相談機関一覧」参照

高岡市医師会では、地域包括支援センターと連携し、認知症および地域包括ケアに関する相談を行い、認知症の方やその家族を支援する事業に協力することを目的に、「認知症・地域ケア相談医」を登録しています。

ご相談のある方は、まず担当圏域の地域包括支援センターにお問い合わせください。

高岡市では、認知症の方やその家族の
暮らしを地域全体で支える

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に
取り組んでいます。

